

令和3年度 授業計画（シラバス）

| | | | | | |
|--|---|--|--------|-------|-------|
| 科目名 | 成人看護学実習Ⅲ | 科目区分 | 専門分野Ⅱ | 授業の方法 | 実習 |
| 対象学年 | 3 学年 | 単位(時間) | 2 (90) | 開講時期 | 3 年前期 |
| 担当教員：服部 千佳 | | 実務経験のある教員による授業 <input checked="" type="checkbox"/> | | | |
| 成人看護に携わった教員及び臨床看護師が教授している。 | | | | | |
| 《科目目標》 1. 周手術期にある対象の全身状態の改善を図り、回復力を高めるとともに、対象のセルフケア能力を引き出し、自立へと援助するための基礎的知識・技術・態度を養う 2. ICU・ERICUにおける対象の特徴と看護の実際を知り、生命の危機的状態にある人を支える看護師の役割について考える。 | | | | | |
| 《成績評価の方法》 実習評価表に基づき評価する。 | | | | | |
| 《使用教材（教科書）及び参考図書》 ① 高齢者と成人の周手術期看護 1 外来/病棟における術前看護 医歯薬出版 ② 高齢者と成人の周手術期看護 2 術中/術後の生体反応と急性期看護 医歯薬出版 ③ 高齢者と成人の周手術期看護 3 開腹術/腹腔鏡下手術を受ける患者の看護 医歯薬出版 | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 事前学習を行う | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 1. 提示された事前課題に積極的に取り組み、実習に活用できるように理解する。 2. 事前学習をもとに、患者の個別性が理解できるよう実習記録に積極的に取り組む。 3. 患者の術後経過に応じ、異常の早期発見・合併症の予防ができるよう必要な看護について考え実践する。 | | | | | |
| 実習プログラム | | | | | |
| 実習期間 | 3 学年 5 月～11 月 | | | | |
| 時間数 | 合計 90 時間 | | | | |
| 実習内容 | 1. 周手術期にある患者とその家族の心理状態を理解する 2. 患者の病態および治療方法を理解し看護の方向性を理解する 3. その人らしさを考えながら全身状態の改善を図り、回復力を高めるとともに、対象のセルフケア能力を引き出し、自立に向けての支援を実施する 4. グループで学びを共有し、周手術期にある人を支える看護の役割を考える 5. ICU・ERICU での看護の役割を理解する 6. 看護者にとって必要な態度を身につける | | | | |